

2021年5月

各位

日本ファイナンス学会
第29回大会実行委員会

**日本ファイナンス学会 大会特別公開セッション
「実務家連携セッションおよび会長講演」のご案内**

日本ファイナンス学会では、学会の活動状況を広く一般の方にも知って頂くため、2021年6月5日(土)に開催される第29回年次大会のセッションの一部を、特別公開セッション(無料参加可)とすることにいたしました。セッションはZoomウェビナーを利用して開催されます。視聴をご希望の方は、以下の方法でお申込みください。先着順で受け付け、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

【特別公開セッション】のご案内

日時：2021年6月5日(土) 13:00~17:00

【実務家連携セッション】

13:00~14:25 <COVID19ショックと金融市場・企業金融>

座長/モデレーター：伊藤 敬介(みずほ第一フィナンシャルテクノロジー)

講演

1. 株主優待と日銀買入れは新型コロナショックによる株価急落を和らげたか?

登壇者：芹田 敏夫(青山学院大学)

2. How COVID-19 Affects Corporate Investment Plans in the US and Japan.

登壇者：池田 直史(日本大学)

3. 長期投資家とESG ~コロナショックがESGに与える影響~

登壇者：松原 稔(りそなアセットマネジメント)

パネルディスカッション

14:30~15:55 <バリュースは死んだか>

座長/モデレーター：伊藤 桂一(SMBC日興証券)

講演

1. 日本のバリュー・プレミアム：統計的(再)検証

登壇者：祝迫 得夫(一橋大学)

2. HML死すともバリューは死なず

登壇者：竹原 均(早稲田大学)

3. バリュー低迷に対するマクロとミクロの視点

登壇者：石川 康(日興アセットマネジメント)

パネルディスカッション

【会長講演】

16:00~17:00 井上 光太郎 (東京工業大学、日本ファイナンス学会 会長)

「株式所有構造と企業統治：我々はどこから来たのか、どこへ行くのか」

【申し込み方法】

以下の URL の「申し込みフォームへ（一般参加の方へ）」よりお申込みください。

<https://nfa-net.jp/seminar/2021opensession/>

視聴用 URL は、後日、ご登録のメールアドレスにご案内申し上げます。

※日本ファイナンス学会会員の方は、事前にご案内する「第 29 回年次大会」の視聴用 URL 付プログラムより視聴が可能となりますので、特別公開セッションの個別申し込みは不要です。

【日本ファイナンス学会入会のご案内】

今回を機に日本ファイナンス学会にご入会頂いた場合、(1)6月5日および6日の2日間に開催される第29回年次大会の全セッションに参加可能となります。第29回年次大会のプログラム、および日本ファイナンス学会の入会方法は、以下のとおりです。

【日本ファイナンス学会第29回年次大会オンライン開催のご案内】

日時： 2021年6月5日（土）・6日（日）

プログラム： 以下の URL よりご参照ください

<https://nfa-net.jp/seminar/2203-2/>

【日本ファイナンス学会の入会方法】

日本ファイナンス学会には、以下の3つの会員区分があります。

1. 正会員（個人）...年会費 10,000 円
2. 法人会員.....年会費 50,000 円（1 口）
3. 特別賛助会員.....年会費 100,000 円（1 口；お申込みは2口以上から）

会費は、会計年度（4月～翌年3月）ごとの1年一括払いです。途中入会の方も、年間の会費を請求させていただきます。

日本ファイナンス学会入会のお申し込みは、以下の URL からお願いします。

<https://nfa-net.jp/admission/>

皆様のご入会をお待ち申し上げます。

<問合せ先>

日本ファイナンス学会 第29回大会事務局

（担当：中川・小林）

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

一般社団法人金融財政事情研究会 内

Tel:03-3354-2377 Fax:03-3359-7947

E-mail: nfa2021@nfa-net.jp

日本ファイナンス学会 特別公開セッション
実務家連携セッション1 <COVID19 ショックと金融市場・企業金融>
講師・パネリストのご紹介

芹田 敏夫(せりた としお)

講演テーマ：「株主優待と日銀買入れは新型コロナショックによる株価急落を和らげたか？」
青山学院大学経済学部 教授、日本ファイナンス学会常任理事。青山学院大学助教授等を経て、2004年より現職。主な著書に『新・証券投資論 I 理論篇』(共著、日本経済新聞出版社、2009年)が、主な論文に「企業のペイアウト政策：再サーベイ調査による分析」(共著)『経営財務研究』38巻 2018年、「日本のETF市場の実証分析 ―マーケットメイク制度導入の影響―」(共著)『証券アナリストジャーナル』2020年11月号等がある。大阪大学大学院経済学研究科後期課程退学。

池田 直史(いけだ なおし)

講演テーマ：「How COVID-19 affects corporate investment plans in the US and Japan」
日本大学法学部准教授。三菱経済研究所研究員、東京工業大学工学院助教を経て、2020年4月より現職。専門はファイナンス(特にコーポレートファイナンス)。著書に『IPOの理論・実証分析：過小値付けと長期パフォーマンス』、『ベーシック+(プラス)ファイナンス』(共著)がある。慶應義塾大学商学研究科後期博士課程修了、博士(商学)。

松原 稔(まつばら みのる)

講演テーマ：「長期投資家とESG ～コロナショックがESGに与える影響～」
りそなアセットマネジメント株式会社 執行役員 責任投資部長、1991年りそな銀行入行、以降一貫して運用業務に従事。投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部、アセットマネジメント部で運用管理、企画、責任投資を担当。2020年1月りそなアセットマネジメント責任投資部長、2020年4月より現職。
MPTフォーラム代表幹事、経産省「サステナブルな企業価値創造に向けた対話の実質化検討会」委員、内閣府「ジェンダー投資に関する調査研究企画委員会」委員等多数。主な書籍「日弁連 ESG ガイドンスの解説とSDGs時代の実務対応」共著。証券アナリスト協会検定会員(CMA)

伊藤 敬介(いとう けいすけ) (パネル討論モデレーター)

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社 取締役、日本ファイナンス学会常任理事。現・みずほ銀行入行後、フィナンシャルエンジニアリング部を経て、2017年より現職。日本CFA協会会長、現代ファイナンス共同編集者、証券アナリストジャーナル編集委員などを歴任。著書に、「新・証券投資論 II」(日本経済新聞出版社、共著)がある。証券アナリスト協会検定会員(CMA)、CFA協会認定証券アナリスト(CFA)、国際公認投資アナリスト(CIIA)。早稲田大学工学修士、スタンフォード大学MBA。

日本ファイナンス学会 特別公開セッション
実務家連携セッション 2 <バリューは死んだか>
講師・パネリストのご紹介

祝迫 得夫 氏(いわいさこ とくお)

講演テーマ: 「日本のバリュー・プレミアム:統計的(再)検証」

一橋大学経済研究所教授。1990年一橋大学経済学部卒業、1997年ハーバード大学大学院経済学研究科博士課程修了(Ph.D.取得)。筑波大学社会工学系講師、一橋大学経済研究所准教授、財務総合政策研究所総括主任研究官等を経て、2012年1月より現職。最近の論文としては、"Impact of exchange rate shocks on Japanese exports: Quantitative assessment using a structural VAR model" (with Nakata, H.), *Journal of the Japanese and International Economies* 46, 1-16, 2017、"Disentangling the effect of home ownership on house-hold stockholdings: Evidence from Japanese micro data" (with Ono, A, Saito, A, Tokuda, H), *Real Estate Economics*, 2021, 1-28 などがある。

竹原 均 氏(たけはら ひとし)

講演テーマ: 「HML 死すともバリューは死なず」

早稲田大学大学院経営管理研究科教授。1989年筑波大学博士課程社会工学研究科単位取得退学、1993年博士(経営工学・筑波大学)。1989年4月(株)エムティービーインベストメントテクノロジー研究所(現三菱UFJトラスト投資工学研究所)入社、筑波大学社会工学系助教授、早稲田大学ファイナンス研究科教授を経て2016年4月より現職。主な著書に *Reform and Price Discovery at the Tokyo Stock Exchange from 1990 to 2012* (Palgrave MacMillan, 2015), *Corporate Social Responsibility and Corporate Finance in Japan* (Springer, 2018)がある。

石川 康 氏(いしかわ やすし)

講演テーマ: 「バリュー低迷に対するマクロとミクロの視点」

日興アセットマネジメント株式会社 株式運用部長 兼 オルタナティブ運用部長 兼 グローバル・マルチアセット Senior Executive Director。野村証券(株)金融工学研究センター、ロンドン・ニューヨーク拠点にてクオンツ運用戦略の開発に従事、2016年3月より日興アセットマネジメント(株)オルタナティブ運用部長。2019年7月グローバル・マルチアセット共同ヘッドを兼任、2020年12月株式運用部長を兼任し、2021年5月より現職。1997年東京大学理学部物理学卒業、1999年東京大学修士(物理学)、2019年京都大学博士(経営科学)。「日本企業の人材投資効率と株主価値」にて2019年度証券アナリストジャーナル賞受賞。MPTフォーラム幹事。日本証券アナリスト協会認定アナリスト。

伊藤 桂一(いとう けいいち) (パネル討論モデレーター)

SMBC 日興証券株式会社 株式調査部 チーフクオンツアナリスト、日本ファイナンス学会理事。1992年(株)野村総合研究所入社。野村国際(香港)、米国野村証券、野村証券金融工学研究センターを経て、2010年より現職。主な著書に「ESG投資の研究～理論と実践の最前線」(一灯舎、共著)。論文に「『ROESG』モデルと『自然資本』のエビデンス」

『月刊資本市場』2019(9) (共著)、“Interaction of investor trades and market volatility: Evidence from the Tokyo Stock Exchange,” with Kee-Hong Bae and Takeshi Yamada, *Pacific-Basin Finance Journal*, vol. 16, no. 4, September 2008 (CFA Institute Asian Investment Research Award, 2007), Working Paper に “Monetary policy through the stock market: Central bank purchase of equity index ETFs,” 2020, with Zhuo Chen, Takeshi Yamada, and Bohui Zhang (CFA Asia-Pacific Research Exchange Award, 2019) がある。